

NPO研究フォーラム

共催：大阪大学大学院国際公共政策研究科NPO研究情報センター
日本NPO学会

協働による震災応援と復旧・復興

～東日本大震災の震災現場からの報告～
(5/12～5/17 (中間報告))

2011年5月22日

今瀬 政司

(NPO法人 市民活動情報センター 代表理事)

ホームページ <http://www1m.mesh.ne.jp/~sic/>

市民活動情報センターの 東日本大震災での応援活動(5/17現在)

- ホームページやメール等での震災情報の整理・発信
(3月11日15時36分発の第一報以降、継続して情報発信)
※「東日本大震災の災害と応援活動の情報」
<http://www1m.mesh.ne.jp/~sic/>
- 震災現場からの被災・救援・復旧・復興状況の情報発信
- 被災地への情報等のお届け
- 被災現場での応援活動(御用聞き等)
- 救援・復旧・復興に向けた意見・提言
- 三陸沿岸の鉄道網の復興への応援活動
- 福島県内の原発被害への応援活動
- 宮城県離島へ応援活動 など

東日本大震災の災害と応援活動の情報

2011年3月11日 M9.0の巨大地震・巨大津波(東北地方太平洋沖地震)で巨大災害が発生!

被災地の求めるモノ	金融機関の対応	保険会社の対応	法律問題等への対応
医療・福祉等への対応	被災者支援制度等	企業・産業への対応	原発危機への対応
政府等の対応	自治体等の対応	SICの報告・意見等 更新	ボランティア等の応援
ライフラインへの対応	地震・津波と天気等	離島への対応	緊急情報(過去のもの)

※更新時間:2011年5月6日(金) 15時10分 <http://www1m.mesh.ne.jp/~sic/saigai110311/index.html>
【注意】情報の正確さに注意しておりますが、緊急での発信のために、情報に間違いや不適切なものがあるかもしれません。
 ※各方面からの貴重な情報のご提供、ご支援にお礼を申し上げます。
 ※当ホームページは、印刷して紙で利用・配布ができるように、主なリンク先のホームページアドレスを見える形にしています。

【緊急情報】
 現在、ありません。

【お知らせ】
 ● 報告会の開催報告(5/5(案内4/24、実施4/30)) **NEW**

「東日本大震災の震災現場からの報告会 ～今後の希望に向けて～」

ライフラインの復旧状況①(5/12~17現在)

- 被災物(ガレキ)の整理・運搬(撤去)がかなり進み、主要な道路は通行可能に。
- 未だに被災物が手付かずの地域もまだ多い。行方不明者の捜索をしながらの被災物の整理・運搬が続く。
- 高速交通網の優先復旧が進む(仙台空港、新幹線、高速道路、主要港湾(フェリー))。
- 三陸沿岸の国道45号線などの復旧が進む(橋脚等の未復旧箇所で迂回路が一部に残る)。
- 一部道路箇所(都市部や迂回路等)で渋滞発生箇所があるが、全体的には通行が非常に少ない道路が多い。
- ガソリン供給はかなり回復。被災の深刻な地域では一部に簡易給油所も。

ライフラインの復旧状況②(5/12~17現在)

- 三陸沿岸の鉄道網の復旧は一部を除き、全く未回復。
- 水道復旧が進む。自衛隊の給水箇所もまだ多い。
- 物資の供給体制は再生が進む。だが、物資不足が深刻な地域もまだある(未指定避難所等)。
- 店舗再開が進む。被災の深刻な地域では店舗が全く未回復。津波被害のない工場は徐々に再開。
- 宿泊施設の再開が進む。一部を除き、工事事業者等で満室状態が続く。

被災現場の「現実」と多様な被災地

- 被災現場に立ってこそ肌(五感)で知る被災の「現実」
- 各県、各地域、各地区などで異なり、日々変化する被災状況と救援・復旧・復興
- 一人一人で異なり、日々変化する被災状況やご事情
- 比較してはいけなさと感じる被害の程度の大小
- 多様な避難所等や災害対策本部(国・県・市町村・地区)
- 多様なボランティア状況(NPO、社会福祉協議会等)
- 一言(一色)で表現することの弊害の大きさ
- 被災地の歴史的背景の多様性と複雑性

温度差・格差・心の溝

- 被災地と非被災地
- 岩手県・宮城県の被災と福島県の被災・被害
- 市町村間
- 地区間、合併前の旧市町村間
- 地域の歴史的背景などとの関わり
- 被災者と非被災者、被災の程度間
- 温度差・格差・心の溝の拡大を小さくして、協働による震災応援と復旧・復興を果たすには

福島県内の震災と原発被害

- 福島県内では、原発危機で先が見えない「ing(現在進行形)」の状況が続く
- 地震と津波の被災に、原発危機と風評被害・差別の被害が加わり極めて深刻
- 福島県と宮城県・岩手県との心の溝
- 回復の見込みが立たない福島県内の観光地や産物等
- 会津若松の町並み被災の修理負担

宮城県離島の被災と救援・復旧・復興

●離島の被災と救援・復旧の状況

・気仙沼市 大島

・女川町 出島、江島

・石巻市 網地島、田代島

・塩釜市 浦戸諸島（桂島・野々島・寒風沢島・朴島）

●離島の復旧・復興への道のり

非被災地からの応援活動

- 非被災地からのボランティア、NPO、社会福祉協議会（行政）の応援活動
- 非被災地からの行政機関の応援活動
- 非被災地からの企業の応援活動
- ボランティア・NPOと国・自治体との協働の課題
- 応援活動への抑制力の影響
- 物資の過不足、調整の難しさ
- 応援体制の適材適所を

ボランティア、NPO、社会福祉協議会等の 応援活動

- 被災地の応援者と、非被災地からの応援者との間の接触の不足、心の距離、情報把握の違い
- 震災発生直後からの応援活動に対するマニュアル的な抑制の論調とその後の影響
- 社会福祉協議会（行政）へのNPO等の協力体制
- 上下管理型によるボランティア運営
- 社会福祉協議会（行政）とNPO等との溝の深さ
- 応援する者の「人間性」やこれまでにそれぞれの道で「培ってきた力」の発揮を

災害コーディネーター機能の課題

- 災害コーディネーター機能（ボランティアセンター等）の平常時からの準備不足（NPO、社会福祉協議会（行政）等）
- 現場レベルでの細かいコーディネーターシステムの課題
- 現場のコーディネーターの力量の課題（質・量）
- 災害でのマニュアル型運営の課題
- 日々の状況・ニーズの変化に合わない未更新マニュアル
- こま切れコーディネーターによる継続性の不足や地元との信頼関係構築の困難さ
- 形だけのコーディネーター機能であれば無い方がいい場合も（自律連携型の応援・ボランティア体制もあり得る）

三陸沿岸の鉄道網の復興への応援活動

- 鉄道網の被災と復旧状況
 - ・ 三陸鉄道（北リアス線、南リアス線）
 - ・ JR東日本
- 復旧・復興への莫大な費用確保の課題
- 鉄道網とまちの復興の複雑な関係
- 被災地の歴史的背景の複雑さ
- 困難な道のりが予測される鉄道網の復旧・復興
- 三陸沿岸の被災地の人々に欠かせない鉄道網
- 鉄道網の復興を実現するための応援活動

これからの協働による 震災応援と復旧・復興に向けて①

- 被災現場の「現実」を知り、触れ合うことから
- 災害の拡大や救援・復旧の遅れ、負の影響には原因がある
- 「無難」な対応、問題解決の先送りの社会体質をどう正すか
- 問われる国や全国自治体での真の行政改革（無駄・体質改革）
- 災害時に試されるNPOと企業と行政の協働

これからの協働による 震災応援と復旧・復興に向けて②

- 大都市神戸とは違う三陸沿岸の被災地の経済・社会環境（弱い経済基盤等）でのNPOによる長期的応援のあり方とは
- 問われるNPOのボランティア力とビジネス力
- 被災地のことを忘れないためには
- 阪神・淡路大震災で私たちは何を反省し誓ったか
- 同じ過ちを繰り返さないために
一人一人の命や心を大事にした社会へ

今瀬政司の阪神・淡路大震災での応援活動

- 阪神淡路大震災の被災地の人々を応援する市民の会
ボランティアのコーディネート、ホームステイのマッチングなど
(1995年1月～)
- ワールドNGOネットワーク(事務局長、1995年2月～)
 - ・「情報ボランティア」という新たな言葉と活動スタイルを生み出し、「NPOの世界」と「技術者の世界」の融合化を図る
 - ・インターネット機能の震災応援、NPO活動、地域づくり等への生かし方を開発・実証。大学(大阪大、筑波大等)や企業(アップルコンピュータ、NTT、NEC等)と連携・協働
- 市民活動情報センター(代表、1995年8月～)
 - ・震災応援活動をきっかけに広くNPOの情報化支援などを展開
 - ・出張訪問による技術指導・相談、メンテナンス、情報処理・受発信代行等(20数団体支援)